

様式第 20 の 2 (第 48 条の 3 関係)

実 務 経 験 証 明 書

氏 名	〇〇 〇〇 (〇〇年 〇〇月 〇〇日生)			
取り扱った危険物	類 別	第 四 類	品 名	第一石油類 ガソリン 第二石油類 軽 油
取り扱った期間	〇〇年 〇〇月 〇〇日から 〇〇年 〇〇月 〇〇日まで (〇〇年 〇〇月)			
製造所等の別 (該当するものを ○で囲むこと)	製造所 ・ 貯蔵所 ・ 取扱所			
<p>上記のとおり相違ないことを証明します。</p> <p>証明年月日 〇〇年 〇〇月 〇〇日</p> <p>事業所名 〇〇〇〇株式会社</p> <p>所在地 〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号</p> <p>証 明 者 職 名 代表取締役</p> <p>氏 名 〇〇 〇〇</p> <p>電話番号 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇</p>				

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4 とすること。

【実務経験証明書 記入要領】

- 1 「氏名」欄は、危険物保安監督者として選任される方の氏名及び生年月日を記入してください。
- 2 「取り扱った危険物」欄は、危険物の類、品名及び当該物品の化学名又は通称名を記入してください。
- 3 「取り扱った期間」欄は、危険物保安監督者として選任される前までに6ヶ月以上の期間が必要となります。
- 4 「製造所等の区分」欄は、製造所・貯蔵所・取扱所のどの区分で取り扱っていたか該当するものを○で記入してください。
- 5 「証明年月日」欄は、届出日以前の日付を記入してください。
- 6 「事業所名、所在地、証明者」欄は、証明をすることができる者の事業所名称及び所在地、職名、氏名、電話番号を記入してください。
証明者とは、危険物施設の設置者、工場長又は店長など、施設の管理責任者となります。